

(別紙様式)

令和7年度 学校自己評価システムシート (県立浦和商業高等学校)

目指す学校像	グローバルに展開する経済社会において、多様な分野で幅広く活躍する商業人材の育成
--------	---

重点目標	1 資格取得などの段階的な目標設定を通じて高度な知識・技能の習得を図るとともに、応用力・創造力を育む探究活動を通じてたくましく生き抜く力を養う。 2 地域の中核を担う商業高校として、教育活動の充実を図り、魅力ある商業教育を推進する。 3 キャリア教育を推進し、社会人として必要な知識・技能や教養とマナーを身に付け、規範意識を持ち、生涯にわたり主体的に行動できる人材を育成する。
------	--

達成度	A ほぼ達成(8割以上)
	B 概ね達成(6割以上)
	C 変化の兆し(4割以上)
	D 不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校評議員	4名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	5名

学 校 自 己 評 価					
年 度 目 標				令和7年度評価(令和8年1月13日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指数	評価項目の達成状況
1	○ 【たくましく生き抜く力の養成】 [現状] 授業力向上を図るための学びあいについて、機会及びその方法への検証が求めている。 [課題] 観点別評価を踏まえた学習評価の改善、及び授業の改善を進めていく必要がある。	・観点別学習状況の評価の充実・効果的な実施を図るとともに、評価を行う際の課題の洗い出しを行い、学びあいの機会やその実施方法について検証を推進する。	・観点別学習状況について、評価及びその方法について改善を実施(通年) ・授業互見とフィードバックによる授業改善の実施(通年)	・学習評価の改善について、6割以上の達成度や経時的上昇が見られるか。 ・教職員の授業見学とフィードバックが実施できたか。 ・学びあいの機会や検証の機会を設けることができたか。	・観点別評価方法見直し・改善を実施 ・学びあいの機会や検証の機会となる教職員の授業見学及びフィードバック実施中
	● [現状] 生徒のアウトプット活動(記述・議論・発表など)の促進と、教科横断的な外部連携授業(指導)の充実が求めている。 [課題] 生徒の主体的・実践的な学びの促進に向け、生徒の相互通行のアウトプット活動の充実、及び外部連携活動を促進していく必要がある。	・生徒のアウトプット活動の促進と主体的な学びの充実を図るため、外部との連携活動を盛り込んだ実践的な学びを促進する。	・生徒のアウトプット活動の活性化(通年) ・ICT機器の活用による相互通行型の学習の活性化 ・外部との連携活動の実施	・アウトプット活動の充実について、6割以上の達成度や経時的上昇が見られるか。 ・ICT機器を活用した相互通行型の学習が日常的になったか。 ・外部との連携活動が実施できたか。	・アウトプット活動率7割以上達成 ・R7年度入学生よりBYOD方式からBYAD方式へ変更 相互通行型学習が可能 ・外部団体との連携率9割達成
2	○ 【魅力ある商業教育の推進】 [現状] 本校の魅力について、効果的な情報発信や学校関係者との情報共有が求めている。 [課題] 出前授業や動画の公開、生徒及び保護者との連携による学校説明会の実施等を通じた更なる志願倍率の上昇を目指していく必要がある。	・生徒や保護者、地域と連携し、本校の魅力や情報発信のため、出前授業・動画公開に加え、学校説明会の活性化により、更なる志願倍率の上昇を図る。	・生徒や保護者との連携による学校説明会の実施(実施毎) ・出前授業や動画公開の複数回実施(実施毎) ・学校説明会等の参加組数の増加 ・希望倍率と最終志願倍率の上昇	・生徒や保護者との連携による学校説明会等が実施できたか。 ・出前授業やHP等による情報公開を複数回実施できたか(実施毎) ・学校説明会等の参加者600組以上が達成できたか。 ・希望倍率(10・12月)と最終志願倍率、対前年度比が上昇しているか。	・学校説明会(全4回)生徒・保護者からの説明を毎回実施。 ・出前授業等の実施数近隣中学9校 ・学校説明会等参加者782組 ・希望倍率10月(0.09p)12月(0.2p)増加
	● [現状] 目指す学校像や重点目標等に準拠した予算の執行と、経費削減が求めている。 [課題] 教育目標を具現化するための県費・団体費予算の適正な執行と、業務改善による経費の削減を進めていく。	・県費や団体費予算の適正な執行と、業務の見直しによる経費削減を押し進める。	・重点目標等に準拠した起案、決裁、執行(実施毎) ・経費の削減、業務改善による経費削減への取組(通年)	・重点目標に準拠した起案、決裁、執行が行われているか。 ・経費削減について、6割以上の達成度や経時的上昇があるか。 ・業務改善により、働き方の改善につながる取り組みが行われたか。	・事務室と管理職の決済DocuWorksで実施 ・経費削減率6割達成 ・定時退勤の奨励等により超過勤務者、昨年より減少傾向
3	○ 【主体的に行動できる人材の育成】 [現状] キャリア・パスポートの更なる活用が求めている。 [課題] キャリア・パスポートの有効活用に向けた取組に対する振り返りと、今後に向けた研究を推進していく。	・キャリアパスポートの更なる活用により、生徒のキャリア形成を図っていく。	・キャリア・パスポートの有効活用	・キャリア・パスポートの有効活用について、6割以上の達成度や経時的上昇が見られるか。	・進路行事・講演会等様々な学校行事でキャリア・パスポートを有効活用
	● [現状] 効果的なキャリア教育の推進に向けた支援ツール(生徒手帳・学習の手引き・スタサポ等)の連携が求めている。 [課題] キャリア・パスポートを中心とした支援ツールの効果的な活用方法について研究を進めていく必要がある。	・キャリア・パスポートを中心とした支援ツールの効果的な連携を図るための調査研究を推進する。	・キャリア・パスポートを中心とした支援ツールの効果的な連携 ・先進校の取組や実践事例の研究	・キャリア・パスポートを中心とした支援ツールの効果的な連携について、6割以上の達成度や経時的上昇が見られるか。 ・先行事例等の研究が行われたか。	・生徒手帳、学習の手引きの活用率8割達成 ・先進校の取組研究1/27実施予定(県外商業高校)

学校関係者評価	実施日 令和8年1月20日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> 海外の学校においても、学び合いの為に多くの時間を確保していると聞いている。引き続き検証を重ねながら、生徒たちの気づきを大切に授業を、今後も続けてほしい。 BYAD方式に変更したことで、相互通行型学習が可能となった点はとても良いことと評価している。引き続き、使用価値の高いソフトを活用し、ICT機器の活用能力を育成してもらいたい。一方で、直筆で文章を書く必要性も求められている。筆記を学ぶ重要性を理解させた上で、表現力の向上をお願いしたい。 志望校の決定にあたり、学校説明会時における高校生の楽しそうに活動する姿を決定理由にあげる中学生がとても多いことから、在校生や保護者からの説明を増やすことはとても効果的であると考えられる。これからは生徒が中心となり、浦和商業の良さを高校生目線から中学生・保護者に伝えて欲しい。 SNSはもはや情報発信のための必須ツールといえる。生徒のセンスをもっと活用できる方策を考え、実現していただきたい。 経費6割削減はとても素晴らしいことである。ペーパーレス化を含め、引き続きお願いしたい。 キャリア・パスポートを活動の記録簿として活用するだけでもったいない。様々な活動を進めようという中で、出会った困難や、それをどのように乗り越えたのか等も記入していくと良いと考える。これにより、精神的な成長も可視化できる素晴らしい支援ツールとなるのではないかと。 キャリア・パスポートの中で、メモ欄として使用する部分と、記録として残す箇所とを明確に使い分け、後者の部分については、他人が見ることを意識して、しっかりと文字を書くことも大切にして指導を続けてほしい。